

飲んで、唄って。東北を元気に

沖縄島唄三線ライブが行われました

志摩小金丸の「酒みせ ちきゅう屋」で、東北地方の復興支援を目的とした沖縄島唄三線ライブが6月3日の夜に行われました。
今回、行われたライブの売り上げのうち10%を義援金として寄付されるそうで、店長の末松さんは「今後もこういったイベントを継続し、東北を元気にしたい」と語っていました。
ちきゅう屋には、地元の人はもちろん、インターネットなどを見て山口県など遠方から訪れた人たちも多く見受けられました。



お酒を飲みながらのライブは格別

チームを超えた交流の場

第30回糸島少年親善野球大会

6月12日、第30回糸島少年親善野球大会の開会式が怡土小学校体育館で行われ、県内32チームの球児たちが一堂に集いました。
当日は、あいにくの雨でしたが、子どもたちにとってはあまり関係ない様子。選手を代表して、玄洋少年野球クラブの浦田泰志君が元気な声で選手宣誓を行いました。
試合は、翌週より3回に分けて行われ、どのチームも熱戦を繰り広げながら、交流を深めました。



元気な声で選手宣誓を行う浦田泰志君

糸島の食材でこだわり弁当提供

コンテストで農水大臣賞・柚木マズミさん

農家であり、惣菜の量り売りの店「惣菜畑がんこ」を営む柚木さん。
このたび、第20回食アメリティコンテスト(主催・農林水産省など)で、最高賞の農林水産大臣賞を受賞されました。
直売所や店舗での販売の他、九州大学では、学生さんに「食べてもらいたい」地元食材を使ったこだわりの「糸島旬の弁当」を販売。栄養のバランスにも配慮した、素朴なお母さんの味が高く評価されました。



次男・文雄さん(右)との強力タッグでますます元気な柚木さん

インドネシアの家庭の味を堪能

糸島市国際交流協会 世界の料理教室

北スマトラ出身の高嶋ほにらさん(志摩在住)を講師に迎え、6月11日、健康福祉センター「あごら」で世界の料理教室が開かれました。
現地の民族音楽が流れ、ターメリックの香りが漂う調理室。異国情緒満点で、教室はさながらインドネシアの雰囲気。
参加者は、初めて使う香辛料に興味津々の様子。異国文化を身近に感じながら、今度は自宅で家族に振る舞おうと、熱心に講師の技を学んでいました。



講師の説明に聞き入る参加者たち

僕たち、私たちの夢に向かって

ドリームトレイサー2011がスタート

6月11日、深江公民館でドリームトレイサーの開講式が開催され、小学4年生から6年生までの29人が参加しました。
あいにくの悪天候のため、予定していた二丈岳登山や真名子木の香ランドでのキャンプは中止となりましたが、危険予知トレーニングや規律訓練、レクリエーションなどの活動に元気いっぱいに取り組みました。
これからの活動を通じて、大きく成長した「夢追い人」たちの姿が、今から楽しみです。



レクリエーションなどを通して、お互いの交流を深めた

涼をもとめて、遊びに行こう

白糸の滝で滝開き

小雨混じりで悪天候の6月11日、安全祈願の神事後、ヤマメの放流や、餅まき、そうめん流しなどが行われ、多くの観光客が夏の到来を間近に感じていました。



滝を眺めながらのそうめん流しに子どもたちは大興奮

この日招待された怡土小学校王丸分校の子どもたちは、前日からの雨で水量が増した大迫力の滝を見てびっくりの様子。そうめん流しに興味津々で舌鼓をうっていました。
今年の夏は「節電」がテーマ。天然の涼が、みなさんのお越しをお待ちしています。